

平成 23 年 3 月 16 日

全清連 会員・理事 各位

一般社団法人全国清掃事業連合会
会長 三井 崇裕

東北地方太平洋沖地震の被災地支援について

< 緊急・重要 >

3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震は、大地震と大津波と原発事故が複合発生するという、我が国にとって史上最悪の未曾有の災害をもたらしており、被災者の皆様は、筆舌に尽し難い悲しみ、不安、恐怖、困難に直面しておられます。

この事態に対して、日頃から地域の環境保全と公衆衛生の確保を使命として一般廃棄物の適正処理事業に関わっている我々が、今、できうる限りの支援に立ち上ることは、我々に課せられた社会的責務といわなければなりません。そしてすでに、3 月 14 日付で、環境省災害廃棄物対策本部から支援要請が来ている状況に鑑みるならば、今、我々がなすべきことは、数ヶ月間の活動展開を見越したパッカー車、ダンプ車等及び運転作業員の動員計画ならびにこれを担保するだけの兵站計画を厳しく準備することであり、今後の環境省、地方自治体からの具体的な要請があった場合に直ちに反応できる体制を構築することです。

まさにこの取組みは、我々固形一廃業界に求められている最大の社会貢献であり、損得勘定を捨てて、体制構築に臨まれるよう心からお願い申し上げます。

なお、現下、世界中、日本中の個人、企業、団体から自治体、新聞社、日本赤十字社を通じて続々と義援金、義援物資が現地に送られています。全清連会員の皆様におかれては、義援金等についてもできる限りの対応をしていただきますよう重ねてお願い申し上げます。

追 記

本日、午前 11 時 20 分、環境省 災害廃棄物対策本部より現地調査に関する情報連絡がありましたので、お知らせいたします。

現地情報

- 1 . 被災地の基地となる市・町の緊急連絡通路の復旧作業は急ピッチに進められ、間もなくのメドあり。
- 2 . 一番の問題点は、燃料(ガソリン、軽油、重油、灯油)の補給！
今は緊急車輛(パトカー、消防車、救急車、ガス・電気関係車)の補給にも支障をきたす状況にある。
- 3 . ゴミの一時保管堆積場 仙台市で 1 箇所確保済み。
他の市町はまだ。
- 4 . ゴミ処理作業車輛として、今必要な車輛は 4 t 平ボデーダンプトラック、 2 t 平ボデーダンプトラックが一番。
重量、超大物は、自衛隊が中心に機能する予定。

・なお、全清連に対する支援の具体的要請については、「燃料と堆積場等の確保の関係で、早くても今週末になると思われる」とのことです。

・また、環境省 廃対課 徳田課長より「全清連の 3 月 14 日付会員通知について、環境省として心から敬意を表する」とのお話がありました。

以上